



夕立の雨うち降れば 春日野の 尾花の末(うれ)の 白露思ほゆ

万葉集 巻16-3819 小鯛王(こだいの おほきみ)

夕立が降ると涼しくていいねえ。でも、あんなに激しい雨に打たれて春日野の尾花は大丈夫だろうか。露を含んで頭を垂れているかしら。それともかえって生き生きとしているかもしれないなあ。

こどもの居場所を活用してみては！

暦の上では、立秋が過ぎましたが、今年の夏は昨年以上に暑く、連日猛暑日が続き、8月5日には群馬県伊勢崎市で国内観測史上、最高気温の41.8度を記録しました。熱中症で搬送された人も例年以上に多く、予防対策として、屋内ではエアコン等で温度を調整、遮光カーテンやすだれなどの活用を、屋外では日傘や帽子の着用、日陰の利用などをしてください。また、身体の蓄熱を避けるために通気性の良い吸湿性・速乾性のある衣服の着用や保冷剤・氷・冷たいタオルなどで身体を冷やすこと、そして屋内でも屋外でも、こまめに水分を補給するようにしてください。



夏休みもあっという間に3週間が過ぎようとしています。子どもたちはこの夏、どのように過ごしているのでしょうか。夏休みの目的は、暑い夏に授業することが難しく、子どもたちの健康を守り、心と身体をリフレッシュしつつ、家庭や地域での学びを通じて成長する機会を与えるものです。また、学校の授業で学んだ知識を復習し、自主学習を通じて学力向上を図ることが主な目的でもあります。

町教育委員会のこども政策課では、子どもたちが一人でも気軽に行ける『こどもの居場所づくり事業』を進めていて、実証実験として夏休み期間中に小学生から若者(30歳未満)の皆さんが自由に過ごせる「こどもの居場所」を開設しています。自習や宿題、読書、友達とおしゃべり、ゲーム、勉強など、思い思いの時間を過ごしてもらえればいいのではと考えています。



さわやかホール

この取組は、町内の事業所のご好意・ご協賛により実現しました。利用は無料で、出入りも自由、暑い夏を涼しく過ごせる場所として、ぜひ利用してもらえればと思います。開設場所は、特別養護老人ホームおきな杜、奈良トヨペット広陵店、イズミヤショッピングセンター広陵、さわやかホールの4カ所です。



イズミヤショッピングセンター

それぞれの施設の利用については、日時等、若干の違いがありますので、町のホームページ(<https://www.town.koryo.nara.jp/kosodate/0000007479.html#index-1-36>)を見てもらっての確認をお願いするとともに、この暑い夏を涼しい思い思いの居場所として活用していただければと思います。

全国学力・学習状況調査の結果が公表されました！

県教育委員会は7月31日(木)、「2025年度全国学力・学習状況調査」に参加した県内小中学校の小学6年生と中学3年生の結果を発表しました。実施教科は、国語・算数(数学)・理科で、結果は小6が全ての教科でほぼ全国平均と並び、中3では全て下回ったようでした。

2025年度 全国調査結果

小学校	国語	算数	理科
町平均	70	61	61
県平均	67	58	57
全国平均	66.8	58.0	57.1

広陵町の結果では、小6は全ての教科で県平均・全国平均を上回りましたが、中3では全ての教科で県平均と同等、全国平均からは下回りました。小学校は、これまで国語・算数で全国平均を少し下回っていましたが、今回は国語でわずかに、算数・理科で3ポイント以上上回りました。

中学校	国語	数学	理科
町平均	53	47	
県平均	53	47	
全国平均	54.3	48.3	

中学校は、これまで全国平均を国語は同程度、数学は上回っていましたが、今回は国語・数学ともに1.3ポイント下回りました。



右上に今年度の調査結果を平均正答率で算出した数値を掲載しましたが、中学校の理科はIRTスコアでの発表となったため掲載していません。

毎年、町教育委員会と各学校で学力及び学習状況の結果分析を行っており、今後、より詳細な分析を踏まえて、学習状況の課題把握と解決に向けた授業改善等を進めていこうと思います。

教育委員会の取組

第1回こども会議を開催しました！

7月16日(水)午後2時から、さわやかホール4階の大会議室で小中学校の児童会・生徒会等の学校代表の子どもたちが集まって、今年度第1回目のこども会議を開催しました。司会進行は広陵中学校が担当してくれました。



私が昨年にこども会議でテーマにした「『笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町』にするために」の取組が、各学校でどのように進んでいるのか、「今の進み具合」や「課題となっていること、悩んでいること」を各学校の代表に発表してもらい、その発表を聞いた人は、他の学校の良かった意見や気になったところをメモし、その理由や感想も書いてもらいました。下に各学校の発表内容を示します。

「笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町」にするために

- ① 学校のみんで行うと考えたこと、今の進み具合
- ② 課題となっていること、悩んでいること

東小学校

- ① あいさつに関する取組、他の学年との交流、バイキング給食
- ② あいさつについて、他学年との交流について

裏面へ

西小学校

- ①交通安全教室でもらったひまわりの種にこめられた思いを全校に広め、命の大切さについて学習している。種を植え、花を咲かせて命のバトンをつなぐ。
- ②植えたひまわりと各学級で考えた命の大切さのキャッチコピーが結びついていない。



北小学校

- ①年齢に関係なく仲良くする、笑顔と元気な声であいさつする、個性を認め合い、みんなを大切にし、支え合う学校。
- ②あいさつについて、公園にゴミ箱を設置してほしい。

真美ヶ丘第一小学校

- ①あいさつ運動、たてわり活動
- ②あいさつを町全体に広げていくには、どうすればよいか。
たてわり活動をはじめたばかりで、手探りなところがたくさんある。

真美ヶ丘第二小学校

- ①あいさつ運動、真美二っ子集会、給食中の音楽
- ②特になし



広陵中学校

- ①あいさつ運動、生徒会報づくり、ベルマーク運動
- ②北館トイレの未改修問題、体育館の設備について

真美ヶ丘中学校

- ①クリーンワングランプリ(CIGP)を検討中、活動を広げるための生徒会新聞の発行、学校スローガンをつくり学校を盛り上げる。
- ②体育館が暑く、全校生徒での交流がなかなかできない。

これらの発表を受け、小中学校入り交じった4つのグループに分かれ、中学生をリーダーとして、一番良いと思った意見はどれなのかが話し合われました。その後、リーダーとなった中学生が各班で話し合われた内容を発表してくれました。



A班からは、西小のひまわりの種で何か新たな取組ができなにか。B班からは、北小のあいさつ運動で校長先生とのあいさつ対決がよかった。C班からは、西小の昨年からの引き継いだひまわりの種を植えて命を大切にしていこうという取組がよかった。D班からは、真美二小のスマイルアップ運動がよかった。との意見を聴きました。

最後にそれぞれの班の意見を聴いて、私が講評として「笑顔あふれる学校、笑顔あふれる広陵町」にするために、各学校の皆さんが様々な取組をしてもらっていることに感謝するとともに、ひまわりは広陵町の花であり、ひまわりの種について新たな取組を皆さんで考えてほしいと話しました。2日前に広陵町が開催した「一人ひとりが尊重される明るいまちづくりの集い」で講演されたNPO法人なかよし学園プロジェクト理事長の中村雄一氏が取り組まれた壱岐の小学生と地元の食材で作ったふりかけを世界中の人たちに美味しく栄養たっぷりの食事を届けようとはじまったなかよしふりかけプロジェクトの取組を紹介し、皆さんもひまわりの種を使って、世界に羽ばたくグローバルな取組を考えてほしいと話しました。

こどもたちの声から未来のまちづくりを！

7月26日(土)及び8月2日(土)にこども計画策定ワークショップを開催しました。町では、こども施策の方向性を示す「広陵町こども計画」の策定に向けて、こどもや若者の意見を反映するため、ワークショップを開催しました。小学4年生から大学生までの応募してもらった17~18名が参加し、貴重な意見をもらいました。メインテーマを「私が思うしあわせな町とは?」、サブテーマ①が「今の私の困りごと」、サブテーマ②が「ウキウキわくわくする町(住みたくなる町)とは?」でした。①では、学校での困りごとと学校以外での困りごとをグループに分かれて出してもらい、多くのすばらしい意見が出ました。それを受けて、②では、今の私の困りごとの解決策から、ウキウキわくわくする町とはどのようなことをすればいいのか、そして、「私が思うしあわせな町とはどんな町か」をこどもたちは真剣に話し合い、自分たちの理想の町について活発に意見を交わしてくれました。



いくつかを紹介すると

☐安全で安心して過ごせる町

☐ごみがなくきれいな町

☐みんなが笑顔でいられる町

☐自分の意見が届く町

☐楽しくにぎやかな町

☐整備されていて、住みやすい町

どの意見も、こどもたちの視点ならではの優しさや願いにあふれていました。こどもたちから未来の広陵町をつくるヒントをたくさんもらい、「広陵町こども計画」づくりに邁進したいと思います。

「親子で一緒に料理をしよう！」

7月29日(火)の9時半から、真美ヶ丘第一小学校の家庭科室において、昨年度に引き続いて、「親子で一緒に料理をしよう」というタイトルで、親子料理教室が開催されました。子どもたちが食に関心をもち、食に関わる人々の活動を知り、正しい知識、調理に関する基本動作を学び、日常の食生活に応用するきっかけとする。給食のメニューを作ることで親子ともに給食に興味をもつ。などの目的で開催されました。メニューは、主食の白ごはん、広陵町産なすのなすのチリソース・チーズポテト・中華コーンスープ、そしてデザートに広陵町産イチゴのムースと盛りだくさんな料理でした。



調理前には、エプロン、三角巾、マスクなどの身支度を整え、栄養士の先生方からメニューの説明とともにそれぞれの調理の説明後、6グループに分かれての調理が始まりました。親子で役割分担をして、楽しく会話しながら和気あいあいとした雰囲気での調理でした。



先生方の的確なアドバイスにより食欲をそそるとてもおいしいような料理が次々と出来上がりました。最後にそれぞれのグループで作った料理をみんなで試食しました。一人一人満面の笑みを浮かべて本当においしそうに試食されていました。